

# 議員全員協議会会議録

令和6年12月18日

宮古市議会

## 令和6年12月宮古市議会 議員全員協議会会議録目次

(12月18日)

議事日程	1
出席議員	2
欠席議員	2
説明のための出席者	2
議会事務局出席者	2
開 会	3
説明事項(1)	3
散 会	8

## 宮古市議会議員全員協議会会議録

日 時

令和6年12月18日（水曜日） 午後1時17分

場 所

議事堂 議場

---

○

---

事 件

〔説明事項〕

（１）台湾訪問について（報告）

出席議員（22名）

1番	佐々木真琴君	2番	畠山智章君
3番	水木高志君	4番	山崎高広君
5番	佐藤和美君	6番	古舘博君
7番	中嶋勝司君	8番	今村正君
9番	白石雅一君	10番	木村誠君
11番	西村昭二君	12番	小島直也君
13番	鳥居晋君	14番	伊藤清君
15番	高橋秀正君	16番	工藤小百合君
17番	長門孝則君	18番	落合久三君
19番	松本尚美君	20番	田中尚君
21番	竹花邦彦君	22番	橋本久夫君

欠席議員（0名）

なし



説明のための出席者

説明事項（1）

市長	山本正徳君	企画部長	多田康君
産業振興部長	岩間健君	産業振興次長	小成勝則君
秘書課長	中村尚道君	公共交通推進係	根市昇君
副主幹兼もてなし観光係長	松浦宏隆君	秘書課主任	山口陽佐子君



議会事務局出席者

事務局長	前田正浩	次長	刈屋巧
主査	吉田奈々		



## 開 会

午後 1時17分 開会

○議長（橋本久夫君）

ただいまから議員全員協議会を開会いたします。

ただいままでの出席は22名でございます。会議は成立しております。

本日の案件は説明事項1件となります。

○

### <説明事項>（1）台湾訪問について（報告）

○議長（橋本久夫君）

それでは、説明事項の1、台湾訪問についての報告、説明を願います。

山本市長。

○市長（山本正徳君）

議長、資料がたくさんあるので、座ったままでよろしいですか。

○議長（橋本久夫君）

どうぞ、着座をお願いいたします。

○市長（山本正徳君）

それでは、台湾訪問について説明したいというふうに思います。

12月7日から11日までの4泊5日、台湾を訪問しましたので報告したいと思います。私のほうから概要を説明し、そして議員の皆さんから御質問等ございましたら、行った人間でですね、詳しく説明できるものが、説明させていただきたいというふうに思いますので、よろしくお願いします。

それでは私のほうから概要について説明します。

2ページを御覧いただきたいと思います。

概要についてでございます。訪問の目的であります。記載順に、台湾の旅行博での観光PR、花蓮市政府、台湾佛教慈濟慈善事業基金会、通称ツーチャーと言われるところでございますへの訪問、それから台湾鉄路との意見交換、台湾海洋大学、これ、基隆市にあります。そして、基隆市政府の訪問、そして台湾ロックバンドFire EX.への宮古市交流親善大使の委嘱が目的でございます。そのほかに、公益財団法人日本台湾交流協会を訪問してございます。このところでFire EX.への宮古市交流親善大使の委嘱をしたわけでありまして。出張者であります。宮古市からは、私のほかに秘書課、観光課、公共交通推進課の職員、そして市議会のほうからは、橋本議長と西村産業建設常任委員長のメンバーで行ってまいりました。

3ページをお願いします。

行程であります。出張期間は先ほど申し上げたように12月7日から11日までの5日間、訪問先は台北市と花蓮市、そして、基隆市であります。

4ページをお願いします。

東北旅行博「だいすきとうほく2024」についてであります。一般社団法人東北観光推進機構が主催をいたします東北への誘客を目的とした旅行博でございます。宮古市は今回で5回目の出展となります。今回は、久慈市と合同出展して、三陸鉄道を活用した広域観光をPRをしてきました。宮古市からの参加者であります。民間事業者6名、宮古市観光文化交流協会2名、宮古市職員2名、そして議会のほうから西村委員長にも、旅行博と会

社訪問に帯同していただいたところであります。旅行博への来場者、2日間で9万5,765名でございます。

次に、5ページをお願いいたします。

宮古市、久慈市合同ブースであります。観光に関するアンケート調査をやりました。907サンプルの回答を得ております。来場者の皆さんには、市内の観光地の中から、興味のある場所を選んでいただきました。興味のある観光素材であります。浄土ヶ浜、青の洞窟、寿司といった順になりました。食と体験に興味関心があるようでございます。これから細かく分析してまいりたいというふうに思っております。

次に6ページを御覧いただきたいと思います。

東北観光セミナー商談会にも参加をいたしました。旅行会社16社のほか、教育旅行を検討する学校9校と直接の面談を行っております。

次に7ページを御覧いただきたいと思います。

昨年度に続きまして宮古市に送客実績のある旅行会社がございまして、そこを訪問をいたしました。各社ごと、今年度の送客数は記載のとおりでございます。

次に、8ページをお願いします。

花蓮市を訪問をいたしました。花蓮市の概要を記載しておりますので、お目通しをいただきたいと思います。花蓮市は人口約10万人、盛岡市の友好都市であります。4月3日に発生した花蓮地震におきましては、宮古市からも、義援金200万円を送っておりまして、ウェイ市長からは感謝の言葉をいただいております。また感謝の盾もですね、このようにいただけてきました。

次に9ページを御覧いただきたいと思います。

花蓮市では、ウェイ市長、リ議長に御対応いただいて、意見交換を行ったところであります。ウェイ市長からは、来年、宮古市をぜひ訪問して、交流を深めたいとの意向をいただいております。盛岡市が友好都市でございますので、盛岡市とともにですね、交流していきたいというふうに考えてございます。

次に10ページであります。

花蓮市役所で行われた交流会の様子でございます。

次、11ページを御覧いただきたいと思います。

財団法人のツーチャーへ訪問をいたしました。ツーチャーは世界各国で、これ仏教団体であります。慈善事業を行っている団体であります。ヨーロッパに行きますと、町が一つなくなったりすると、協会も造ってあげたりする。宗教を超えた慈善活動している団体でございます。本部は花蓮市内にございます。私たちが訪問する前日にはですね、台北市内にも支部がございます。宮城県の市長会が訪問しておりました。ツーチャーは東日本大震災の際には、被災者に対しまして、直接義援金を現金で配っていただきました。私もいただきました。被災者でございましたので。通帳などが流されて生活する上で現金が必要な状況の中で、非常に助かったという思いがございまして。そして宮古市民への義援金の総額であります。記載のように、1億9,885万円でございます。岩手県は11億、宮城、岩手、福島で50億を超えてございます。非常に大きな支援をいただいたということであります。今回の訪問でも、支援へのお礼を伝えてきたところであります。また、ツーチャーの活動内容、それから最新のですね、避難所用品を紹介していただきました。別ファイルのところに、避難所のパーテーションとか、それから椅子とかベッドとか、様々ですね、我々の先を行っているようなグッズとかがあり、紹介をしていただいたところであります。

次に12ページをお願いいたします。

国営の台湾鐵路有限会社へ訪問してまいりました。台湾鐵路であります、2016年に三陸鉄道とI G Rと姉妹鉄道協定を締結しております。この路線はですね、これもまた別ファイルで載せております。西側の海岸線を通るものが三陸鉄道と姉妹鉄道協定、それから山側を通っているのがI G Rとの鉄道協定というので両方一緒にですね、これ姉妹鉄道協定を結んで、再来年には、締結10周年を迎えるということで、どんなふうを迎えようかということで向こうからもですね、様々意見交換をしてきたところであります。具体的に三陸鉄道のPR、そして送客につながればいいなというふうに思って、話し合いをしてきたところでございます。

次に13ページであります。

国立台湾海洋大学、基隆にあります、訪問をいたしました。このきっかけはですね、国立台湾海洋大学は、このレイ教授という方がですね、宮古市出身の東京海洋大学の佐々木剛教授と連携してですね、森川海体験交流事業というのをしております。この事業を通じてですね、台湾海洋大学の学生が宮古市を、今年も昨年もかな、来ていただいております。タイ学長も宮古市のことを承知していました。今後もですね、学生を宮古市に派遣して研究していきたいというような意向を示されていただきました。

次に14ページでございます。

基隆市政府へ訪問をいたしました。基隆市は、人口36万人の港湾都市であります。台湾における海洋政策の重要な都市として位置づけられているところであります。港も大きくですね、貨物、旅客輸送の基地となっているということでクルーズ船なんかもですね、ここに発着しているというところでございます。台湾の海洋大学が紹介して、この基隆市に訪問することが出来たというところでございます。

次に15ページをお開き願いたいというふうに思います。

基隆市のチョウ副市長さん、女性の方で、結構すてきな美人さんでございました。懇談をしてまいりました。宮古市のジオパーク、あるいは瓶ドンなどについて紹介をしていただき、すぐ興味を持っていたところでもあります。チョウ副市長のほうからですね、台湾海洋大学の交流を通じて、宮古市とも交流連携を深めていきたいというような話をしてございます。基隆市は、宮古島市とも姉妹都市です。台湾の市とかなんかはですね、日本の各地と交流関係を結んでいます。ですから、たくさんの日本の市町村と、友好提携をしているというようなところでございます。

16ページになります。

公益財団法人の日本台湾交流協会台北事務所を訪問をいたしました。そして同時にですね、宮古市の交流親善大使の委嘱式、Fire EX.にですね、この委嘱式をここでやらせていただきました。また台湾交流協会では、現在のこの日台の関係、あるいは台湾の経済状況などについても、外務省から派遣していったる職員がきちっと説明をしていただきました。これも別紙として参考資料を添付しておりますので、後ほど御覧いただきたいというふうに思います。

そして17ページであります。

宮古市の交流親善大使を委嘱させていただきましたFire EX.についてであります。Fire EX.は台湾を代表するロックバンドであります。継続して被災地を訪れて交流を続けていただいております。下の図のように、浄土ヶ浜をバックに演奏して、Keep On Goingという歌をつくっていただいております。そういう関係がありまして、宮古市の縁は2016年から始まるわけですが、野球交流であったり、音楽イベントなどに出演したりして、この間交流を深めてきたというところでございます。日台友好への貢献が評価されまして、2021年には外務大臣表彰を受賞してございます。このたび、宮古市の台湾での観光PR活動のサポートなど、ともに歩みを進

めていくことを確認して、宮古市交流親善大使を委嘱をしたところでございます。これからも、かなりこれ有名な、台湾で有名なバンドでありますので、ともにですね、ともに交流することで、ともに発展していければいい、発展していきたいなあということをFire EX.は言うておりました。

概要については以上となります。議員の皆様からも質問等がありましたら、お答えしたいというふうに思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○議長（橋本久夫君）

この件につきまして、私のほうからも一言所感を述べさせていただきます。

概要について、今、市長が申し上げたとおりの日程内容でございます。私ども議会を代表して、私、参加してきたわけなんですけれども、今回の目的にありますこの8か所、大きな目的が、8か所の訪問だったわけなんですけれども、これは2011年の東日本大震災を契機に、台湾が様々な支援、そして応援を宮古市にさせていただいたということが、改めて実感出来たところでございます。宮古市がこのようなつながりの中で、どのような、また今後の可能性を探っていくかということを改めて、帯同することによって、私もその辺が理解出来たところでございます。宮古市としても、非常にきめ細かい交流をしているのではないかな。そして今回、市長があえてお礼の訪問、そして復興に関する報告をしてきたこと、それに伴って私も市長、議長と一緒に、向こうの関係者に、お会い出来たことは、非常に誠意ある対応だったのではないかなと思っております。向こうの方々も非常に好意的に受入れていただきました。そういう意味では非常に親日的な人たちでございましたので、今後の様々な可能性、交流の可能性に、実際結びついてくるものではないかなというところを実感してまいりました。この中で、特に、我々も知らなかったことが本当にたくさんたくさん、台湾から支援を受けていたんだなということを改めて実感することが出来ましたので、今の報告を持ちながら、もう一度ちょっと皆さんのほうで、何かここを聞きたいとか、こういうことはどうだったんだということがあれば、改めてまた、御質問していただければと思います。今後の可能性としても非常に有効的な、今回の訪問だったということは間違いないと思っております。そういったことで改めて議会を代表して行ってきたことを皆様にお礼申し上げるとともに、これからもまたこういう機会があれば報告をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、皆様の方から、この件について何か質問があればお願いいたします。

田中尚君。

○20番（田中尚君）

どうも大変詳細な説明をいただきました。

資料の4、つまり避難所用品の部分についての質問であります。ここで見た限りではですね、これは何かとても、ベッドにもなるし、日常的には椅子にもなるしということで、とても軽量かつ、どこでも使えるという点からするとですね、これ災害時の避難施設の利用にとどまらず、ある意味、日常的にですよ、例えば午前中に議論しました川井地域のタイマグラ施設だとか、野外キャンプのときにもですね、何か使えるんじゃないのかな、簡易ベッドということで、思ったもんです。これは国内では使われてるのかどうなのかってことについて、もし説明の中に、承知いただけるような情報がありましたら、その点について伺います。

○議長（橋本久夫君）

中村秘書課長。

○秘書課長（中村尚道君）

お答えいたします。



国内での利用はまだございません。ただ国内の場合は、国内のホームセンター等で売っているもので代用している団体等もございます。

○議長（橋本久夫君）

次に、西村議員に、観光博についての概略、参加したことを報告願いたいと思います。

○11番（西村昭二君）

私のほうからはですね、観光博のほうと、そしてあとは、旅行代理店のほうを回らせていただきましたので、その部分について御報告を申し上げたいと思います。

まずですね2日目に朝から、旅行博のほうにお邪魔させていただきまして、その中で、地元の宮古の観光業に携わる宿泊業者様であるとか、あと観光協会、そして市の職員、三鉄さんと、あと久慈市の観光協会の方々というところで、この岩手県のこの沿岸の宣伝をさせていただきました。市長からの報告にもありましたけれども、その中で、台湾の方々は本当に日本が大好きだと。そして、この三陸沿岸に何を求めているのかというところで、アンケート調査をさせていただきながら、そしてニーズを把握してきたというところであります。いづれ感じたところは、観光博に行ったときに複数の方々が、もう宮古市に何度か来てるんだと。また来年来たいので、三鉄さんの乗り方を教えてほしいとか、重茂のトドヶ崎の灯台まで行ったという方もありましたし、本州の四端ですか、東西南北全部制覇したんだよという台湾の方もいらっしゃったりで、本当に日本が愛されてるんだなというところを感じて、我々もですね逆に、台湾のほうにもっと好意を抱いて、積極的に交流していくことが必要だということ、初日にいきなりですね衝撃を受けたというところであります。あとはアピールをする場面において、私も12月の一般質問で、インバウンドの大きな問題は言葉の壁であると言いましたけれども、実は参加されてた業者の方々は、当然中国語もお話出来ない中で、身振りで手振り、そして、ニイハオとシェイシェイだけで台湾の方と交流を持っていると。本当にちょっと私の一般質問が一気に打ち落とされたような感じでしたけれども、本当に宮古の事業者さんたちの熱い思いも伝わりましたし、所管の委員長としては、非常にこの初日からですね、非常に勉強になった視察であったなと思います。

次の日なんですけれども、今度は宮古のほうに、観光客を回していただいている旅行代理店さんのところにお邪魔させてもらって、地元の業者さんたちがそれぞれ宣伝をするというところに立ち会わせて、一言二言、私のほうからも御挨拶をさせていただいたというところなんです。あとは市長、議長とまた一緒になりまして、先ほどの御説明のとおりになると思いますので、以上となります。

○議長（橋本久夫君）

これについて何か御質問はございませんか。

ないようでございますので、これで質問、質疑を終わります。

説明員は退席をしてください。

〔説明員退席〕

○議長（橋本久夫君）

以上で予定していた事項は終了いたしました。

その他に移ります。

皆さんから何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（橋本久夫君）

なければ、事務局のほうからあります。

前田事務局長。

○事務局長（前田正浩君）

1点私のほうからお知らせがあります。

ロビーのホワイトボードに、予定表に記載してありますけども、来年1月27日月曜日に宮古地区広域市町村議会連携会議の研修会を全議員対象に岩泉町で行います。今年の2月にグリーンピアでやったものと同じになります。来年の1月27日月曜日になりますので、予定のほうよろしく願いいたします。以上です。

○議長（橋本久夫君）

ほかに皆さんのほうからございませんか。

なければ、これをもちまして議員全員協議会を閉会いたします。大変お疲れさまでした。

午後 1時42分 閉会

○

宮古市議会議長 橋 本 久 夫